

わとどままり

2022.5 / No.381

沖永良部島 和泊町広報誌

🔍 施政方針 和泊町 令和よねんど



令和4年度 施政方針

はじめに

(抜粋)

令和4年度は、ふるさと納税を積極的に推進し「稼ぐ力」の向上に資する施策や脱炭素社会の実現と豊かな自然との共生のための施策、また、新たに重点新規事業枠を設け、町民の行政需要に対応する施策などを積極的に推進し、全ての町民が安心して暮らし、活躍できる社会の形成に向け取り組んでまいります。

1 活力ある産業の振興

● 農業の振興

さとうきびは、順調に生育し、糖度は早期高糖品種の普及で上昇しています。早期管理作業の重要性と単収・早期高糖・環境にあった品種の選定や栽培管理の励行等を推進し、更に農作業受託者連絡会の充実を図ってまいります。

パレイショは、菓ごもり需要により高単価で推移しました。引き続き、生産者の収入安定に繋がるよう関係機関と連携してまいります。

にんにくは、輸送コスト支援事業生産振興費

を活用し、乾燥施設の導入により種子の品質向上を図りました。今後も面積拡大に取り組んでまいります。

花きは、外国産切り花の輸入の減少や冠婚葬祭の需要回復で、安定した販売となりました。今後は、変化に応じた新たな販売方法、スマートフラワーの産地づくりに取り組みとともに「えらぶの花推進協議会」を通じてPR活動を行い、価格安定と予約相対の向上を図ります。

また、台風等の自然災害に備え、施設整備を推進してまいります。

畜産は、昨年に比べ子牛価格は安定しております。引き続き、機械導入、繁殖雌牛の増頭を図ってまいります。

また、農林水産業未来創造プロジェクト事業等の実施により後継者確保に努めてまいります。

輸送コスト支援事業は、農林水産物の移出と原材料等の移入を補助し、生産振興を促進してまいります。

畑かん営農推進は、各地区において畑かんマイスターの出前講座や、サンサンテレビと動画配信サイトを利用し「畑かん営農チャンネル」を放映するなど、農家への情報提供を引き続き積極的にを行い、農家の所得向上に努めてまいります。

地域農産物の高付加価値化の促進として「島もの」の有効活用と農産物加工センターが効果的に活用されるよう、民間委託等の運営方法について検討を進めてまいります。

また、有機農業に関する可能性についても調査を進めてまいります。

● 農業農村整備

国営沖永良部土地改良事業の地下ダム本体工事等の工事は完了しましたが、施設の補完工として工期が延長されます。畑かん施設整備事業も全地区が順次整備されつつあり、農作業の効率化や水利用による増収が期待されます。一方、早期事業完了地区においては、経年劣化による漏水や施設の故障が発生し、沖永良部土地改良区を中心に関係機関一体となり、施設の長寿命化や適正な維持管理に取り組んでまいります。

● 林業の振興

森林環境譲与税を活用し各学校施設へ木材製品導入や森林整備を行い、木育の推進及び森林機能の保全を図ってまいります。

● 水産業の振興

加工品の製造環境を整備し、沖永良部島漁業協同組合オリジナル商品の開発に取り組んでおります。また、えらぶの魚普及事業を通して、情報発信を行い、島魚の消費拡大及び担い手の確保を図るとともに、漁業者の所得向上に努めてまいります。

● 商工・観光・地域経済活性化

商工業では、商工業者の経営の安定・向上のため、利子補給補助金の支援を引き続き行ってまいるとともに、町民の活力を取り戻すことを目的とした各種イベントの実施に向けた支援を継続してまいります。

観光は、遠隔会議システムを活用した観光プ

ロモーションの実施、知名町やおきのえらぶ島観光協会と連携し、島の資源を活用した新しい着地型体験観光メニューの造成を進めており、ウィズコロナ・アフターコロナの時代に向けた観光振興につなげてまいります。

地域経済活性化では、ワランチャやんばる体験交流プロジェクト及び給食食材交流を継続実施し、沖縄県今帰仁村との相互交流を深めてまいります。

「まちゆんどプロジェクト」は、地域おこし協力隊「ちむぐるプランナー」が着任し、島の子ども達の郷土愛を育むための取組を進めているところです。特に「郷土学」と「職業学」のプログラムづくりを中心に活動を実施しており、アンケート調査結果の分析やイベント実施によるニーズを把握しながらプロジェクトを推進してまいります。

2 教育文化の振興と心豊かな人づくり

● 学校教育の充実

外国語科やプログラミング教育など社会の変化に対応した教育を積極的に推進してまいります。また、ICT支援員を配置し、各小・中学校に配備した端末の利用促進に向けて積極的に取り組んでまいります。

「いじめ防止基本方針」に基づき、関係機関との連携強化を進めるとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの活用し

よる教育相談体制の拡充にも努めてまいります。また、「郷土で育てる肝心の教育」と併せて、児童生徒が自己の生き方や他者との関わりを通して行動できる力を身に付けられるよう推進いたします。さらに、教科体育や体育的行事等の充実を図り競技力等の向上に努めてまいります。

● 家庭教育の充実

「基本的生活習慣の確立」「学習意欲の向上」「家庭学習60・120運動」を推進し、家庭教育の充実に努めてまいります。

● 社会教育の充実

生涯学習の推進は、中央公民館における学習内容の充実に努めてまいります。町立図書館では、図書及び資料の提供並びに読書の場を提供し、学びを共有する活気ある交流の場として機能することを目指します。

芸術・文化及び文化財は、郷土の貴重な文化資源の調査・研究を展開しつつ、文化財や伝承芸能を活用した郷土教育の取組を進めてまいります。

また、消滅危機にある島ムニの保存・継承や現行の和泊町誌に新たな知見を加え、更なる内容充実を図ってまいります。

スポーツの推進はスポーツ活動等の一層の充実を図るとともに、かごしま国体等の開催を見据えて、競技者の増加につながる施策を展開してまいります。

また、「元気！わどまりクラブ」の組織体制強化を図るために地域おこし協力隊を配置し、生涯

スポーツの推進も継続充実してまいります。さらに、スポーツ活動等の拠点となる総合交流施設（仮称）の建設へ向けた取組を検討してまいります。

3 社会福祉等の充実

● 健康づくりの増進

病気の早期発見・早期治療を促進するため、各種がん検診等の更なる受診率の向上に努め、健康相談や介護予防教室等を開催し、意識改善に努めてまいります。

また、安心して島内で出産できるよう産科医療体制確保に向けた取組を行うとともに、妊娠や出産、育児期を通じた切れ目のない継続的な支援ができるよう産婦健康診査事業や産後ケア事業の充実に努めてまいります。

国民健康保険事業は、県の運営方針に基づき、適正な資格管理、保健事業、保険給付、保険税率の決定等を実施し、健全な財政運営に努めてまいります。

後期高齢者医療は、長寿健診や健康増進事業の充実に努めながら、高齢者が安心して医療を受けられるよう努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症については、正確な情報提供と感染防止対策に努めるとともに、ワクチン接種を希望者に速やかに実施できるように取り組んでまいります。

難病患者については、島外で治療を受ける場合、旅費を助成するなど経済的及び精神的負担の軽減を図ります。

●福祉の増進

「和泊町地域福祉計画」に基づき、住民一人ひとりの生きがい、地域をともに創っていく社会の実現を目指して取り組んでまいります。

介護保険は、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう取り組んでまいります。

また、「みじらしゃエリアプロジェクト」による高齢者の街中移住や共同生活を推進する取組を進めてまいります。

障害者福祉は、関係機関と連携を図りながら障害者の自立に向けた支援を推進してまいります。

●児童福祉の充実

子ども医療費助成事業、子ども島外受診旅費助成、放課後児童クラブ等を実施するとともに、乳児用品購入費助成事業の拡充を図ってまいります。

また、保護者が子育てと仕事の両立ができるよう支援を引き続き実施します。

さらに、「むーるしふでいらさープロジェクト」の主旨をふまえ「家庭保育応援事業」「育児専門電話相談事業」を創設し、日中家庭で子育てをする保護者等に対して、精神的・経済的支援を図るとともに、いつでも育児相談ができる体制を整え、地域活動における子どもとのふれあいや地域の高齢者の参加による子育て支援の展開など、地域全体での子育て力の強化を図ってまいります。

4 交通基盤等生活環境の整備

●交通基盤の整備

通学路への歩道設置や基幹道路の拡幅工事と舗装補修工事、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋梁の改築修繕を行ってまいります。また、防災対策として、無電柱化事業を推進してまいります。

●上水道事業

安定した水の供給を実施するためにも、企業会計の更なる運営の健全化を図り、料金体制の見直し等を含めた長期的な財政状況計画を策定する必要性があります。

引き続き、施設の維持管理や老朽管の布設替え工事等を行い漏水防止及び耐震化に努めてまいります。

●下水道事業

農業集落排水事業にて整備された和泊中部地区を公共下水道地区へ統合することとしております。農業集落排水事業は、和泊仁嶺・城地区の耐用年数を超えた機器類の更新事業を行ってまいります。

また、令和5年度からの公営企業会計適用に向けた地方公営企業会計法適用移行支援業務委託を実施しております。

●住宅整備事業

空き家の利活用や危険廃屋解体撤去を推進するとともに、建物の長寿命化を図りつつ、住民の安全の確保と住環境の整備に取り組んで

まいります。

●生活環境衛生

家庭用生ごみ処理機等設置費助成事業を継続して取り組むことにより、生ごみの更なる減量化に努めてまいります。

また「あたらむープロジェクト」を推進し、ごみの減量化等とともに不法投棄・ポイ捨て防止を図ってまいります。

●環境にやさしい循環型エコのまちづくり

令和4年1月7日に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、再生可能エネルギーの積極的な導入や新しい価値観を持ったライフスタイルへの転換を図り、持続可能なまちづくりに向け、積極的に取り組んでまいります。

●安心・安全なまちづくり

引き続き犯罪の未然防止、交通事故等の削減に向けての取組を強化します。

また、減災防災に対するさらなる意識の向上と、地域防災力の充実強化について取り組んでまいります。

その他、安心・安全を提供できる和泊町消防団を継続してまいります。

●共生・協働のまちづくり

NPO設立認定等の権限が移譲され、NPO設立を検討している方が相談しやすい環境が整いました。実情にあった地域活性化を推進してまいります。

● デジタル化の推進及び新有線テレビの維持

「ペーパーレス議会システム」を導入し、町議会のデジタル化を推進しました。また、Web会議システム及びWeb会議用PCの整備によるオンライン会議等にも積極的に取り組んできました。今後は、AI OCRやRPAなどを導入し、行政のデジタル化と併せて事務の効率化による行財政改革に取り組んでまいります。

● ゆりのふるさと基金事業

ふるさと納税の有効活用を努めるとともに、寄附金の使途及び事業の広報、周知を図ることで、地域の魅力を伝え、共感を得ることでファンやリーダーを増やす取組を実施してまいります。

5 財政事情及び各会計予算

● 財政事情

社会資本の整備や既存施設の維持管理、高齢化の進展による扶助費等の増大が見込まれる中、機能的かつ簡素で効率的な行政運営に向けた取組を推進していく必要があります。

● 一般会計予算

各種財政指標が県内の他市町村と比較しても依然として厳しい水準にあることから、持続可能な町政運営を展開するためにも、職員全体が財政状況に対する危機意識を共有し、予算要求の段階から徹底的に見直ししました。

区分	令和4年度		令和3年度		比較 (A)-(B)	
	予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比		
義務的経費	人件費	1,417,741	22.5%	1,371,204	21.6%	46,537
	扶助費	623,890	9.9%	626,088	9.9%	△ 2,198
	公債費	1,060,998	16.8%	1,174,919	18.5%	△ 113,921
	計	3,102,629	49.2	3,172,211	50.0%	△ 69,582
投資的経費	普通建設事業費	503,047	8.0%	710,397	11.2%	△ 207,350
	補助事業	350,074	5.6%	459,934	7.2%	△ 109,860
	単独事業	62,645	1.0%	136,638	2.2%	△ 73,993
	県営事業負担金	90,328	1.4%	113,825	1.8%	△ 23,497
	災害復旧費	6,070	0.1%	16,544	0.3%	△ 10,474
	計	509,117	8.1%	726,941	11.4%	△ 217,824
一般政策経費	物件費	968,739	15.4%	824,617	13.0%	144,122
	維持補修費	36,507	0.6%	31,714	0.5%	4,793
	補助費等	1,011,163	16.1%	976,302	15.4%	34,861
	積立金	38,392	0.6%	2,003	0.0%	36,389
	投資及び出資金	0	0.0%	0	0.0%	0.0
	繰出金	620,315	9.8%	608,297	9.6%	12,018
	予備費	13,138	0.2%	6,896	0.1%	6,242
	計	2,688,254	42.7%	2,449,829	38.6%	238,425
合計	6,300,000	100.0%	6,348,981	100.0%	△ 48,981	

※ 端数処理のため、構成比等は内訳の計と必ずしも一致しません。
〔単位：千円〕

各課に対しては、義務的経費や投資的経費を除いた一般政策経費の要求にあたっては、前年度と比較して93%の範囲内となるように指示をし、結果として要求段階では削減が達成されていなかった所属に対しては、減額査定を行い、一部の所属を除いて93%の範囲内の予算となりました。これまで整備をしてきた学校や公共下水道などの公共施設は、建設されてから相当年数が経過しており、維持管理費や修繕費が今後ますます増加することが懸念されております。

併せて、高齢化の進展による扶助費等の増大も見込まれることから、引き続き機能的かつ簡素で効率的な財政運営に向けた取り組みを進めていきます。

令和4年度当初予算における各課ごとの一般政策経費（一般財源ベース）については次のとおりです。

課名・局名	当初予算額（前年度比）
総務課	288,497 (92.85%)
議会事務局	8,319 (97.80%)
企画課	101,604 (92.70%)
会計課	1,605 (92.92%)
税務課	0 (00.00%)
保健福祉課	210,579 (92.90%)
町民支援課	154,109 (92.30%)
生活環境課	14,706 (92.70%)
経済課	59,759 (92.90%)
耕地課	24,924 (77.50%)
土木課	12,608 (92.90%)
農業委員会	1,970 (83.10%)
教委(学校)	89,504 (91.10%)
教委(生涯)	93,879 (92.10%)
合計	1,062,063 (92.10%)

※ 一般政策経費の査定は、前年度と今年度の事業内容（新規及び廃止）を考慮しております。
〔単位：千円〕

● 特別会計等予算

区分会計名	予算額
国民健康保険特別会計予算	1,085,676
介護保険特別会計予算	970,939
後期高齢者医療特別会計予算	99,085
下水道事業特別会計予算	264,911
農業集落排水事業特別会計予算	329,796
奨学資金特別会計予算	11,455
水道事業会計予算(収益的事業)	180,577
計	2,942,439

※ 水道事業会計の資本的事業は除く
〔単位：千円〕

前登志朗が公共施設を訪ねて学ぶ

公共施設

第一回
「下水道」

マネジメント

すゝめ



下

水道施設は、明治33年に制定された旧下水道法のもと、生活環境の改善や水質保全を図る目的で全国的に整備が進められた、住民が衛生的で、安心・安全な生活を送るために欠かせない重要なインフラです。地形上の理由により水資源の確保が難しい和泊町では、産業基盤である農業用として再生水を利用することも視野に入れ整備されてきました。町長の前登志朗と生活環境課下水道業務担当の名越寛人が上手々知名の下水道処理施設を訪れました。

町長 ずいぶんと登ったところにある施設ですね。全国的には海の近くに作ることが多いようだけど、これには機能的な理由があるのかな？

担当 当初は、農業用水として使うために、溜池に近い高い場所に整備されました。現在は地下ダムの整備が進んだので、農業用水としての利用はほとんどありません。

町長 島の状況が変われば、担う機能も変わっていくということだね。和泊町の下水道施設の現状について少し説明してもらえますか？

担当 和泊町の下水道整備状況は近隣地域と比べて進んでいます。人口に対する普及率は91%を超え、群島内においても、県内においても1位です。町民の衛生的で安心・安全な生

活をしつかりと支えていると言えます。①

町長 我々が小さい頃は畑の近くに肥溜めがあったり、汲み取り式のところも多かったけど、和泊町の下水道は奄美群島の中でも先駆けて整備されて、とてもありがたいと思っていました。和泊町の下水処理施設の整備は、具体的にはいつ頃から進んで来たのかな？

担当 平成4年から始まり、現在の施設が一通り整備されたのが平成25年になります。下水道は和泊・手々知名・喜美留・和・畦布・根折の「公共下水道」とその他地域の「農業集落排水」の2系統に分かれている事はご存知ですか？

町長 町長になってから知りました(笑)。
担当 整備に関わる分類なので、機能や役割は同様と考えていただいて結構です。

町長 しかし、この処理槽も手すりがないぶつびているけど②、ところどころ老朽化が進んでいるのが目立つね③。これまでの下水道関連施設にかかった総投資額や、今後も施設を維持していくに必要な費用はどれくらいなんだろう？

担当 総投資額は、公共下水道が約62億円、農業集落排水が約65億円となっています。そして今後10年間施設を維持するために、更新費用として、公共下水道が約15億8千万円、農業集落排水が約5億5千万円かかると想定されます。これ以外にも突発的な故障に伴う修繕費が発生する可能性もあります。現在の下水道施設は、いずれも供用開始から20年以上が経過していることもあり、修繕費などの維持管理費が増大しています。③

町長 なるほど：更新費用だけで21億円を超え

ると。かなり大きな費用となりますね。計画的な財政措置が必要になりそうです。この数値は現在の施設規模での試算だよな？

担当 はい、そうなります。先ほども話に出ましたが、施設が高いところにあるということも、費用増大の一因となっています。

町長 費用を圧縮するために、更新に合せて施設の統廃合やスペックダウンを進めることはできないだろうか。

担当 現在、中部地区は和泊浄化センターとの統廃合が進んでいます。他の地区はまだ具体的な検討はできていませんので、今後議論していく必要があると思います。

町長 そうですね。残念ながら人口が減ってきているという事実もありますしね。人口増減やそれに伴う使用料の推移もシミュレーションしながら、未来志向で施設更新のあり方を検討していきたいと思います。施設にかかる費用とは別に、汚水処理にかかる費用もありますよね？

担当 令和2年度で言いますと、汚水維持管理費が年間で約9千8百万円かかっています。それに対して使用料収入は約7千4百万円と、管理費に対して、使用料収入が下回っており、年間約2千4百万円の赤字です。費用の内、使用料によって賄われている割合を経費回収率と言い、和泊町は80%を下回っているのが現状です。**④**

町長 なるほど。こちらも厳しい数字ですね。

担当 はい。経費回収率は100%を超えるべきなので、良い経営状況とは言えないのが正直なところです。和泊町の世帯数が3,238世帯

(R4年4月1日現在)なので、1世帯あたり年間7千260円の赤字という計算になります。

町長 これには設備更新に関する費用は含まれていないわけだよな。更新費用がとても大きいものになることが予想される中、改善策を検討していく必要がありますね。施設の延命化を図るだけでなく、維持管理・更新などにかかるトータルコストの低減について、本気で取り掛かる必要があるという思いを強くしました。名越くん、ありがとう。今後も一緒に頑張ろう！

① 下水道普及率

奄美市	88.1%
大和村	68.5%
宇検村	75.3%
瀬戸内町	8.6%
龍郷町	0.0%
喜界町	64.3%
徳之島町	23.4%
天城町	0.0%
伊仙町	0.0%
和泊町	91.1%
知名町	85.5%
与論町	19.8%
鹿児島県平均	45.4%
全国平均	82.6%

※ 令和2年度末時点の公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水事業・漁業集落排水事業・特定地域生活廃水処理事業の合算値

② 老朽化した手すり



④ 汚水処理経費回収率 (R2)

公共下水道	
汚水維持管理費	58,077,762円
使用料収入	44,767,091円
一般会計繰入額等	13,310,671円
経費回収率	77.1%
農業集落排水	
汚水維持管理費	39,620,827円
使用料収入	29,425,484円
一般会計繰入額等	10,195,343円
経費回収率	74.3%

③ 既存施設の更新費用 (見込み)

	公共下水道	農業集落排水	合計
R 4	165,000,000円	136,500,000円	301,500,000円
R 5	235,000,000円	136,500,000円	371,500,000円
R 6	285,000,000円	136,500,000円	421,500,000円
R 7	285,150,000円	136,500,000円	421,650,000円
R 8	150,000,000円	0円	150,000,000円
R 9	150,000,000円	0円	150,000,000円
R10	10,000,000円	0円	10,000,000円
R11	100,000,000円	0円	100,000,000円
R12	100,000,000円	0円	100,000,000円
R13	100,000,000円	10,500,000円	110,500,000円
合計	1,580,150,000円	556,500,000円	2,136,650,000円

TOPICS



和泊小学校い組



和泊小学校ろ組



国頭小学校



大城小学校



内城小学校



城ヶ丘中学校



和泊中学校1組



和泊中学校2組

小・中学校入学式

4月6日、和泊町立小・中学校の入学式が行われました。和泊小学校49名・国頭小学校15名・大城小学校6名・内城小学校7名・城ヶ丘中学校11名・和泊中学校49名の計137名が新1年生として学校生活をスタートしました。

TOPICS



成績表

1位	沖永良部高校	2:29'41''
2位	国頭ガジュマル	2:33'07''
3位	沖永良部消防署	2:34'57''

区間賞

1区	村山 仁一郎 (沖永良部高校)	17'53''
2区	山下 健太郎 (沖永良部高校)	新 11'30''
3区	中田 仁 (国頭ガジュマル)	新 14'40''
4区	東 和哉 (国頭ガジュマル)	14'02''
5区	森田 爽楽 (沖永良部高校)	17'15''
6区	東 奏汰 (国頭ガジュマル)	14'40''
7区	佐々木 有希 (沖永良部高校)	16'41''
8区	山田 裕介 (沖永良部高校)	20'37''
9区	田邊 寛 (沖永良部高校)	新 18'34''

躍進賞

1位	田皆中学校	20'20''
2位	県沖永良部事務所	16'02''
3位	和泊中学校サッカー部	15'39''

第57回沖永良部島内一周駅伝競走大会

2月6日、第57回沖永良部島内一周駅伝競走大会が行われました。終始、沖永良部高校が引っ張る展開で、今まで以上にハイレベルな駅伝競走大会となりました。沖永良部高校の2連覇達成と3つの区間新記録が誕生する、記録尽くめの大会となりました。



第26回 和泊町子ども芸能発表会

2月13日、和泊中学校あかね文化ホールにて、和泊町子ども芸能発表会が行われました。今回は、新型コロナウイルス感染症対策のため、無観客での開催となりました。町内文化団体や子ども会など14団体が、舞踊やダンスなど、日頃の練習の成果を披露しました。



和泊町切花品評会

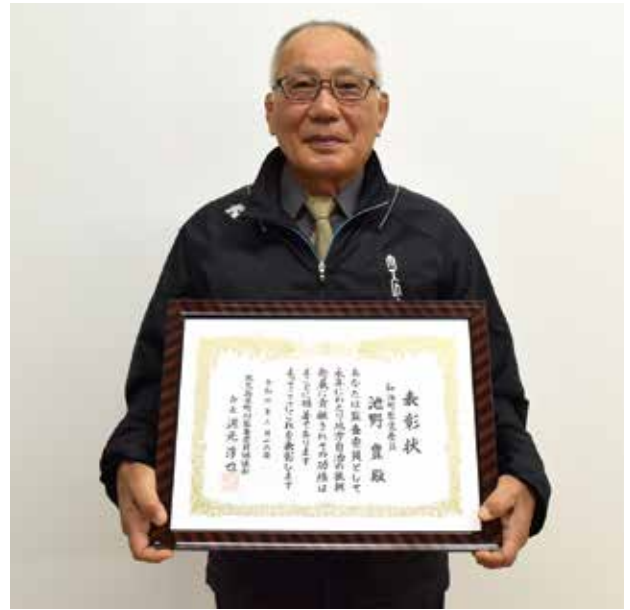
2月9日、令和3年度和泊町切花品評会がやすらぎ館で開催されました。町内の花き生産者が5部門に108点出品し、審査の結果、有馬尚吾さん(玉城字)のキクが最優秀賞に選出されました。

TOPICS



収入保険加入促進感謝状贈呈式

2月28日、和泊町が群島内では唯一、農業経営収入保険制度への加入促進に助成金を活用し、加入者数が大幅に伸びたとして、全国農業共済組合連合会から感謝状が贈られました。



監査委員永年勤続表彰

2月22日、町長室にて、監査委員永年勤続者池野 豊 氏の表彰状の伝達式が行われました。池野氏は、和泊町の監査委員として、平成28年から和泊町の振興発展に尽力していただいています。



和泊町地域交流施設 とうくさ館 開所式

4月5日、「和泊町地域交流施設 とうくさ館」の開所式が行われました。役場庁舎の利便性向上を目的として、庁舎の周辺道路整備が検討される中で、道路利用を安心・安全に行うために「旧とうくさ館」の解体移転が決まり、令和3年8月から和泊町地域交流施設 とうくさ館建設工事が着工され、令和4年3月に無事に竣工となりました。令和4年4月11日から地域包括支援センター及びふれあいサロンはっぴいが一つとなり、新たな和泊町地域交流施設 とうくさ館として運用されます。

令和4年度町職員人事異動

級	氏名	新職名	旧職名
課長級	● 宮原 芳實	土木課長	土木課参事兼課長補佐
	● 大吉 憲仁	農業委員会事務局局長	企画課参事兼課長補佐
	● 長尾 太志	税務課長	沖永良部バス企業団補佐
	● 林 鈴代	国頭子ども園長	内城子ども園長
	● 南 俊美	保健福祉課長	総務課長
	● 林 義仁	総務課長	企画課長
	● 山元 博文	耕地課長	税務課長
	● 有馬 清武	企画課長	保健福祉課長
	● 中原 初美	内城子ども園長	大城子ども園長
	● 福永 君子	大城子ども園長	国頭子ども園長
課長補佐級	● 宗 幸司	生活環境課長補佐	教育委員会事務局係長
	● 前田 浩樹	町民支援課長補佐	町民支援課係長
	● 大柴 勝吾	税務課長補佐	総務課係長
	● 瀬川 文慎	耕地課長補佐	耕地課係長
	● 中田 隆昭	土木課長補佐	経済課係長
	● 永野 敏樹	企画課長補佐	企画課係長
	● 速水 良太郎	生活環境課長補佐	総務課係長
	● 長田 留美子	国頭子ども園主任保育士	和泊幼稚園教諭
	● 村榮 初美	経済課長補佐	教育委員会事務局次長
	● 三島 和乃	和泊幼稚園教諭	大城子ども園主任保育士
● 町田 学	教育委員会事務局次長	町民支援課長補佐	
係長級	● 田代 勇太	経済課係長	経済課主査
	● 竹下 富廣	税務課係長	税務課主査
	● 通村 祐明	土木課係長	生活環境課係長
	● 和田 貴子	教育委員会事務局係長	企画課係長
	● 宮内 吉樹	経済課係長	生活環境課係長
	● 芋高 智美	町民支援課係長	経済課係長
	● 谷山 由美	総務課係長	教育委員会事務局係長
3級主査級	● 東山 綾乃	大城子ども園保育士	大城子ども園保育士
	● 島田 裕治	企画課主査	保健福祉課主査
	● 東 真奈美	保健福祉課主査	保健福祉課主査
	● 白峯 真由美	保健福祉課主査	町民支援課主査
	● 大坪 忠仁	教育委員会事務局主査	農業委員会事務局主査
	● 太 剛志	教育委員会事務局主査	鹿児島県奄美パーク主査
	● 堀江 勇泉	教育委員会事務局主査	総務課主査
2級主査級	● 川上 香緒里	内城子ども園保育士	内城子ども園保育士
	● 村山 早奈恵	大城子ども園栄養士	大城子ども園栄養士
	● 西 未来	生活環境課主査	生活環境課主事

級	氏名	新職名	旧職名
2級主査級	● 西 佑美	大城子ども園保育士	大城子ども園保育士
	● 木場 浅葱	教育委員会事務局主査	教育委員会事務局主事
	● 清水 美穂	税務課主査	税務課主事
	● 西田 真咲美	企画課主査	企画課主事
	● 池田 亮	町民支援課主査	総務課主事
	● 森 千緒	企画課主査	保健福祉課主事
	● 山岡 佳那恵	保健福祉課主査	保健福祉課主事
	● 棚窪 優樹	経済課主査	経済課主事
	● 有林 翼	企画課主査	総務課主査
	● 二宮 慎悟	総務課主査	耕地課主査
主事級	● 八木 大輔	保健福祉課主査	鹿児島県後期高齢者医療広域連合主事
	● 田畑 綾乃	大城子ども園保育士	内城子ども園保育士
	● 池田 勇太	保健福祉課主事	企画課主事
	● 末川 航	税務課主事	教育委員会事務局主事
	● 吉田 航大	総務課主事	税務課主事
	● 沖野 健人	総務課主事	保健福祉課主事
	● 大江 祐輔	生活環境課主事	税務課主事
	● 山下 信輔	保健福祉課主事	土木課主事
	● 福島 亮	内城子ども園保育士	大城子ども園保育士
	● 川原 美里	総務課主事	保健福祉課主事
派遣・出向	● 田浦 幸乃	沖永良部与論地区広域事務組合	税務課長補佐
	● 沖田 浩幸	国土交通省国土政策局	教育委員会事務局係長
	● 山田 大地	沖永良部バス企業団	生活環境課主事
再任用	● 衛守 歩	鹿児島県	町民支援課主査
	● 永山 美智代	耕地課主査	耕地課主査
	● 大吉 聡美	保健福祉課主査	保健福祉課主査
新規採用	● 先山 照子	農業委員会事務局主査	農業委員会事務局局長
	● 沖 裕平	町民支援課主事	
	● 藤井 一	経済課主事	
	● 伊集院 香菜子	企画課主事	
退職	● 村吉 沙織	大城子ども園保育士	
	● 池田 哲勇		沖永良部与論地区広域事務組合消防長
	● 先山 照子		農業委員会事務局局長
	● 和田 清良		土木課長
	● 亘 禎一郎		耕地課長
	● 田仲 香		国頭子ども園保育士
● 菅村 文雄		企画課主査	

●は昇任・昇格

令和4年度町教職員人事異動

学校名	転出・退職者				転入者			
	職名	氏名	地区	新任校(職名)	職名	氏名	地区	前任校(職名)
和泊小	教頭	日置 正齊	鹿市	鹿児島市立平川小(校長)	教頭	柴田 浩	北薩	薩摩川内市立峰山小(教頭)
	教諭	桑原 三千代	大隅	鹿屋市立大始良小(教諭)	教諭	貴島 武徳	鹿市	鹿児島市立谷山北中(教諭)
	教諭	森田 常人	始良	始良市立北山小(教頭)	教諭	新門 佳奈		新規採用
	教諭	村山 英哲	大島	和泊町立和泊小(再任用・初任研)	教諭	村山 英哲	大島	和泊町立和泊小(再任用・初任研)
	栄養教諭	城戸内 麻子		任期満了	栄養教諭	永田 大輔	大島	和泊町立和泊中(教諭)
大城小	校長	田邊 ツル子		定年退職	校長	折田 佳奈		新規(臨時的任用)
	講師	前 依津美		任期満了	校長	野口 浩二	北薩	長島町立川床小(教頭)
	講師	乾 有輝		任期満了	教諭	椎畑 咲美	鹿市	鹿児島市立西紫原小(教諭)
					講師	前 依津美		和泊町立大城小(講師)
	事務職員	濱島 優子	鹿市	鹿児島市立宮川小(事務職員)	講師	小山 倭加		新規(臨時的任用)
内城小	校長	雪丸 堅	鹿市	鹿児島市立松元小(校長)	事務職員	松木 慶子	大隅	鹿屋市立鹿屋東中(事務主査)
	教諭	竹迫 秀一	大隅	肝付町立高山小(教諭)	校長	岩戸 孝夫	南薩	指宿市立山川小(教頭)
	講師	新納 美保		任期満了	教諭	山口 芳野	鹿市	鹿児島市立福平小(教諭)
国頭小	教頭	米森 一孝	大隅	肝付町立国見小(校長)	講師	伊口 優佳		新規(臨時的任用)
	教諭	山田 和子	南薩	指宿市立開間小(教諭)	教頭	西村 慎哉	大隅	大崎町立菱田小(教頭)
	教諭	村田 彰	大島	和泊町立国頭小(教諭)再任用(フルタイム)	教諭	村田 彰	大島	和泊町立国頭小(教諭)再任用(フルタイム)
和泊中	教頭	山 美奈子	大島	奄美市立住用小(校長)	講師	新納 美保		和泊町立内城小(講師)
	教諭	堀田 和光	大隅	鹿屋市立串良中(教諭)	教頭	川邊 洋佑	大隅	錦江町立田代中(教頭)
	教諭	永田 大輔	大島	和泊町立和泊小(教諭)	教諭	高城 夕希歌	北薩	出水市立米ノ津中(教諭)
	講師	西 盛治		任期満了	教諭	中木原 和孝	北薩	薩摩川内市立川内南中(教諭)
	講師	池上 舞		任期満了	教諭	畑野 隆	大島	知名町立知名中(教諭)
城ヶ丘中					教諭	東 博志	北薩	さつま町立宮之城(教諭)
	教諭	松田 洋平	鹿市	鹿児島市立松元中(教諭)	教諭	丸山 陽介	大隅	県立楠集中(教諭)
					講師	福井 直美		新規(臨時的任用)
					教諭	霧園 淳二	北薩	さつま町立宮之城(教諭)

和泊町教育委員会事務局 / TEL:0997-92-0009

鹿児島地方法務局からのお知らせ

鹿児島地方法務局では、ご自身で登記申請手続をされる方のために、登記申請に必要な書類や登記申請書の一般的な記載について説明する登記手続案内を実施しています。この登記手続案内は、「予約制」となっていますので、利用される際は、事前に電話等により予約をお願いします。また、案内は1回20分以内です。登記申請書の様式等は、鹿児島地方法務局ホームページ(<https://houmukyoku.moj.go.jp/kagoshima/>)に記載していますので、手続案内を利用される場合は、あらかじめ様式を確認いただくと案内がスムーズです。

● 不動産登記申請手続に関するご案内

庁名	予約・お問合せ先	案内日
不動産登記部門	099-259-0682	月・火・水・木・金
奄美支局	0997-52-0383	火・木

● 会社・法人登記申請手続に関するご案内

庁名	予約・お問合せ先	案内日
法人登記部門	099-259-0636	火・木

空き家を有効活用してみませんか？

和泊町の空き家状況

前回 (R2) 321件	即入居 27件	軽改修 36件	中改修 67件	重改修 62件	危険 129件
今回 (R4) 333件	即入居 24件	軽改修 40件	中改修 79件	重改修 67件	危険 123件

令和3年11月～令和4年2月に、各集落の区長さんにご協力をいただき、第3回空き家調査を実施しました。前回の調査より空き家が12軒増加。即入居可能家屋と危険家屋は減少しているが、軽・中改修物件は増加しています。この結果から前回の調査で軽・中改修だった家屋が放置されたまま次の段階に退化していることが推察されます。空き家を放置しておく、様々なリスクが伴います。リスクを回避するためにも、即入居レベルの家屋に関しては、早めの空き家バンクへの登録を、軽・中改修家屋に関しては、昨年度から土木課で始めました「和泊町空き家活用促進事業」の活用をおすすめします。

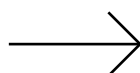
和泊町空き家活用促進事業

空き家の有効活用を通して、町内への移住・定住、観光・交流促進、産業振興等、地域活性化を目的に「和泊町空き家活用促進事業」を設けています。空き家所有者又は購入者もしくは賃借者が、和泊町空き家バンクに登録された物件の改修に要する費用に対し、予算の範囲内で補助金を交付する事業です。

- 条件：空き家バンク登録物件・補助金交付後5年以上の事業継続 ※ 空き家バンクへの登録手順は裏表紙をご覧ください。
- 補助対象者：家主・借主・買主・法人・集落
- 用途：住居・店舗・事務所
- 町負担：3分の2・上限200万円（改修費300万円の場合：町負担200万円・所有者負担100万円）

〔令和3年度事業利用者の声〕

今回事業を活用したのは、築年数43年の家で5年間空き家でした。家は住む人がいないと数年で住めない状態になるということはわかっていましたが、ある程度改修が必要な上、荷物があつたため放置していました。住居として借りたいという人が現れ今回の事業を利用。畳からフローリングに変更し、暗かった廊下と台所の壁も一部取り外し以前より明るくなりました。自分たちで、いつかやろうと思っていたらいつまでも空き家のままだったと思います。空き家活用事業を利用させていただき感謝します。



募集期間

令和4年5月9日(月)～令和4年7月29日(金)

令和4年度 第1回和泊町不動産公売会

滞納処分により差し押さえた不動産を入札により公売します。今回は土地(農地)1物件の公売となります。



※ 上空からドローン撮影(範囲線は物件特定のためのイメージ)

番号	R4-01
地目	畑
地積	3,627㎡
所在(地番)	和(1085-1)
見積価額 (最低入札価額)	2,990,000円
公売保証金	300,000円

● 公売とは

納期限を過ぎると納期限から20日以内に督促状が発送され、発送後10日を経過する日までに税金が納付されない場合には、財産が差し押えの対象となります。公売は差し押さえた財産(不動産等)を入札等により売却することです。

● 入札ご希望の人へ

入札への参加を希望する人はまずご連絡ください。公売財産の詳細・公売の注意事項をまとめた「不動産公売広報※」「不動産公売物件説明書」をご覧の上、参加していただくことをお勧めします。

公売実施に関するご案内

- 公売期日：令和4年6月14日(火)
- 受付時間：午前10時00分～10時30分
- 入札会場：和泊町役場2階会議室
- 持ち物：身分証明書・印鑑・公売保証金・和泊町農業委員会発行の買受適格証明書

注意事項等

①国税徴収法第92条および国税徴収法第108条により公売参加を制限される場合があります。②公売は現状有姿で行うため、現況と異なる場合があります。③公売財産については、あらかじめその現況(権利関係等)および関係公簿等を確認してください。④執行機関(町)は担保責任を負わず、財産の引渡し義務を負いません。そのため、明け渡しや動産の処理、境界協議等は買受人が行うことになります。⑤権利移転に伴う費用(移転登記にかかる登録免許税、登記嘱託書の郵送料等)は買受人の負担となります。⑥納付により公売が中止になる場合があります。⑦その他公売財産および手続きの注意事項については「不動産公売広報」を必ずお読みください。⑧和泊町農業委員会発行の「買受適格証明書」の発行申請期限は、5月16日(月)です。

買受希望の場合は事前に下記までご連絡下さい。

※「不動産公売広報」は税務課窓口で確認できます。

INFORMATION

がん検診を受けましょう！

がんは、和泊町の死亡原因の第一位です！
下記の日程でがん検診が行われます。1年に1回は検診を受けて、異常の早期発見、早期治療に努めましょう。

● 肺がん・結核検診

日程：6月3日(金)～6月11日(土)

場所：各字公民館、役場結いホール

※4月区長会で受診票等を配布します。

● 子宮頸がん・乳がん検診

日程：6月16日(木)～6月21日(火)

場所：国頭研修会館・玉城字公民館・内城字公民館

旧保健センター(予定)

※5月区長会で受診票等を配布します。

● 詳しい日時・場所・対象者・料金等は受診票に記載されていますので、ご確認下さい。ご不明な点は保健センター(099718413526)までお問い合わせ下さい。

行政に対するご相談は 行政相談委員へ

行政相談委員は、皆さんの身近な相談相手として、国・県・市町村などの役所の仕事や行政サービス、手続に関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関に対する改善の申し入れなどを行っています。相談は無料で秘密は守られますので、お気軽にご相談下さい。

【行政相談委員】

田代 吉信さん

住所：和泊町国頭2915番地

電話：090-4357-1988



和泊法務局証明サービスセンター

和泊町役場内証明サービスセンターでは、左記の証明書などが取得できます。

- 土地・建物の登記事項証明書(1通 6000円)
 - 会社・法人の登記事項証明書(1通 6000円)
 - 会社・法人の印鑑証明(1通 450円)
- ※収入印紙については、郵便局などにて購入をお願いします。

【取扱時間】

午後1時から午後4時(土日・祝日を除く)

【お問い合わせ先】鹿児島県地方務局奄美支局
電話：099715210376

自動車税種別割は5月31日までに 納めましょう！

自動車税種別割は、4月1日現在で自動車(軽自動車は除く)を所有している方に納めていただく税金(県税)です。今年は「納税通知書発送日」が5月6日(金)、「納付期限」が5月31日(火)となっております。

自動車税種別割は、インターネット・スマホ決済アプリ・クレジットカード(令和4年5月31日まで)・金融機関・郵便局などで納めることができます。御不明な点がありましたら、大島支庁県税課まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

電話：099715717225

※なお、新型コロナウイルス感染症の影響等により、納付が困難な場合は、大島支庁県税課にご相談下さい。

休日診療のお知らせ

6/19	6/12	6/5	5/29	5/22	5/15	5/8	5/5	5/4	5/3	5/1	4/29
町田医院	福山医院	本部医院	朝戸医院	大蔵医院	町田医院	福山医院	本部医院	朝戸医院	大蔵医院	町田医院	福山医院

※変更になる場合があります。当番医院にご確認の上、ご来院下さい。

永良部
世の主
その十七

石積み崩落！世之主の墓

令和4年2月4日金曜の夕刻から翌5日土曜の午前10時までの間に、世之主の墓（県指定史跡）の墓室正面東側、墓庭地表面から約5mの位置の石積みが、縦1.5×横1mの範囲で崩落しました。その箇所は、石積みにハマイヌビワの木が根付いており、風当たりが強いため木が風にあおられ、石積みの孕みが確認されていました。根も石積み内部に進入している様子でしたので、町教育委員会では、史跡の専門家等の指導助言を得て、植物体の完全除去は行わず、石積み上の幹・枝を定期的に剪定し風当りを軽減、経過を見守っていました。が、残念ながら…。

世之主の墓では他にも、石積みの崩落が複数箇所を確認され、それ以外にも、石積みの孕みや緩みの発生が散見されます。原因としては、石積みに根付いた樹木の風雨による揺さぶり、樹根の石積み内への進入、または樹根等を伝って石積み内部に侵入した雨水の流れによる裏込材の流出、隣接道路を通行する車の振動、などが指摘されています。

一方、樹根をがんに絡めにまとった結果、現状では石積みが維持されていることも。人類が作った石造物等が自然界に飲み込まれていく光景に、見る者は思わず息を呑みますが、文化財の保護を考えると対策が必要です(例：世界遺産カンボジアのタ・プロム寺院など)。

町教育委員会では、地域・関係者と協議の上、見学者の安全を最優先し、当分の間は墓庭内への入場を禁止とさせていただきますが、史跡周辺からは見学が可能です。

去る3月、石造文化財保存のプロが来島、本史跡の保存について、県教委文化財課を交えて現地視察・指導を行っていただきました。今後、この指導助言を基に、大切な島の宝を後世に引き継ぐため、現状での最善の方策を検討・実施します。



崩落した世之主の墓の石積み

和泊町教育委員会事務局 電話：0997-92-0300

元気！わどまりクラブ通信！

令和4年3月19日にクラブダンス教室「FEED BACK」のダンス発表会が開催されました。コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、2週間続けての延期判断となりましたが、練習の成果を十分に披露出来た様子でした。

(後援：Eri Fitness ダンス教室 E Soul Jr.)



FEED BACK ダンス発表会

スポーツ安全保険の紹介

元気！わどまりクラブでは、会員の皆様に(公財)スポーツ安全保険の加入を推奨しています。スポーツ安全保険は、誰もが安心してスポーツや文化活動などの団体・グループ活動(社会教育活動)に参加することが出来るよう、(公財)スポーツ安全協会が損害保険会社と協力して作り上げた、小さな掛け金で大きな補償が得られる公益目的の事業です。クラブ会員の皆様の保険加入を受け付けています。詳しくは、スポーツ安全保険ホームページをご覧ください。(https://www.sportsanzen.org)

元気！わどまりクラブ事務局 [電話] 0997-92-0300 [Facebook] https://www.facebook.com/genkiwadamari



Library

「第64回こどもの読書週間」の本棚

子どもたちに読んでほしい本をたくさん展示・貸出しております。もちろん子どもだけでなく、大人も一緒に本を読んでください。楽しい本の世界、あなた大切な一冊に出会えますように…。



『ほんをひらいて』

作：トニ・モリスン スレイド・モリスン

たなにならんでいるほんは、みんなひらかれるのをまっている。ほんは、たんけんしたり、かんがえたり、ゆめをみたりするのをてつだってくれるんだ。ほら、ルーズほんをひらいて…心が温まるような詩が並び、語りかけてくる絵本です。(読んだあと、お気に入りの本を手にとってみたくなる、そんな本です。)



『としょかんねずみ』

作：ダニエル・カーク

サムは図書館に住むねずみです。毎晩、サムは思う存分本を読みます。絵本や物語、スポーツや料理、本で知った知識のおかげで、サムは外の広い世界を学び、やがて豊かな空想力で物語を書いています。偶然、図書館に来た子どもたちがサムの書いたお話に夢中になり…楽しみながら本を読むこと、想像力をもつこと、物語を書く喜びを小さな1匹のねずみが教えてくれます。



『図書室のはこぶね』

著：名取 佐和子

10年前に貸し出されたままだったケストナーの「飛ぶ教室」は、なぜいま野亜高校の図書室に戻ってきたのか。1冊の本に秘められたドラマが動き出す。未来はまだ見えなくても歩み進める高校生たちと、それぞれの人生を歩んできた卒業生たち。海を見渡せる「はこぶね」のような図書室がつなぐ<本と人>の物語。主人公2人の爽やかな青春ミステリーとなっております。

イベント

- 「赤ちゃんおはなし会」 日時：令和4年5月19日(木) 午前10時30分～11時 対象：乳幼児と保護者
- ※ 事前予約制 ※ 新型コロナウイルスの感染状況により、延期・中止する場合があります。

新着本 / 一般書

『コロナ禍妊娠日記』 著者：おおが きなこ
『ルボ森のようちえん』 著者：おおた としまさ
『会って、話すこと。』 著者：田中 泰延
『ここに物語が』 著者：梨木 香歩
あたらしくはいったほん / じどうしょ
『おてつだい忍法ドリル』 かいだひと：あさば みゆき

あたらしくはいったほん / じどうしょ

『Dr. フラナリーのいきもの観察大鑑』 かいだひと：ティム・フラナリー
『おつきさまのパンケーキ』 かいだひと：真珠 まりこ
『せかいでさいしょにズボンをはいた女の子』 かいだひと：キース・ネグラー
寄贈書
『私はただ、「生きてる〜！」って叫びたいだけだったんだ』 寄贈者：二口 真弓
『医療への信頼』 寄贈者：河田 真智子

※この他にもたくさん配架しています。

和泊町立図書館

TEL：92-3033 / FAX：92-0773



- 休館日は月曜日と一部祝日、そして毎月最終週の木曜日(整理休館日)です。ご理解とご協力をお願いいたします。詳しくは、町立図書館のホームページでご確認ください。
- 4月から9月末まで、開館時間は午前10時～午後6時30分となります。

利用者の皆様へ 図書館をご利用の際は、マスク着用・手指消毒・本を入れるバッグの持参にご協力下さい。

21のお話

第12回「大城字」のお話

大城字はとても水に恵まれた地域である。これには、石灰岩が少なく、花こう岩の混ざった、地下に水が流れて行きづらい大城字特有の土壌が関係しているのではないかとされている。大城字は泉や井戸がほかの字と比較して多く存在し、戸数に対する、泉と井戸を足した水源の割合が島内で2番目に多かった。昔は大城字を流れる石橋川の周辺一帯に田んぼが広がり、稲作がさかに行われていた。夏、稲刈りで人が不足したときには、ほら貝を吹いて学生たちを集めていたという。冬は田んぼの水溜まりにホウラガニが現れるため、それを捕まえることもあったそうだ。大城字には現在も多くの水路が存在し、木が生い茂る場所のふもとを見れば、いたるところに水の流れを確認できる。田んぼはのちに畑に変わったものの、石橋川沿いの畑は干上がることはなかった。そのような水のある場所では、水稲作時代よりも古い時代の、歴史ある作物と言われる田芋の栽培が行われ、現在も大城字のいくつかの場所で受け継がれている。そして、水の豊かなこの場所で育てられた作物は“ゆうゆう市”に並べられ、多くの人々を楽しませている。大城字の豊かな水は自然の恵みであり、住民の生活を支えるかけがえのない資源である。



大城字の水源の一つ

現在、沖永良部島は「農業の島」といわれ、農業所得も高いが、三〇〇年前は、実に貧しい島であった。薩摩藩が島を治めるようになると、年貢取り立てのため、耕地の調査が行われた。この調査を検地けんちという。最初の検地は一六三二年に行われていて、総石高（生産高を米に換算した）が四一五八石余であった。この数字が本島の石高である。その後、耕地が開墾されて増加し、一七二六年の検地では六四一〇石となっている。この検地を享保検地きやうほうけんちといい、その後は総合的な調査は行われていない。

幸いこの検地では、島ごとの耕地面積と石高が次のように確定していて、島々の比較が可能である。

大 島 耕地 二三五六町余
石高一六七七八石余
徳之島 耕地 二一四町余

揺蕩いのアイデンティティー 第9回

この統計から島々の一町当たりの石高を、永良部を一〇〇として割り出すと、次のようになる。

永良部	耕地	石高
喜界島	耕地	石高
与論島	耕地	石高

石高一五三一八石余
耕地 一六九七町余
石高 六四一〇石余
耕地 一六七〇町余
石高一〇八三六石余
耕地 四四〇町余
石高 二四一三石余

永良部一〇〇、徳之島一九一、大島一八八、喜界島一七〇、与論島一四四。すなわち永良部の土地が一番痩せていて、収穫高が少なく、極端に貧しかったことが分かる。先人たちは貧しかったからこそ、勤勉でよく考える農民魂を身につけ、生産に励んだのであった。

歩み編さん執筆編集委員 先田光演

はなしゃぬわらび



上ノ瀬 仁太くん(7歳)

上ノ瀬 元暉くん(9歳)

上ノ瀬 太詞くん(3歳)

虫とりとサッカーが大好きな、仲良し3兄弟！晴れた日は公園内をところ狭しとかけ回ります！！

戸籍の窓

町の人口

※ 4月1日現在()は前月比
※ 外国人を含む

総人口:6,216人(-89) 世帯数:3,238戸(-41)
男性:3,077人(-58) 女性:3,139人(-31)

出産

子の名前	性別	保護者	住所
松岡 伶依(れい)	女	泰治・香織	手々知名
喜井 心粹(こいき)	女	泰貴・幸	喜美留
宮原 沙奈(さな)	女	裕貴・詩織	国頭
櫻井 千咲(ちさ)	女	謙次・らむ	和泊
三島 才煌(さきょう)	男	才輝・いずみ	畦布
中田 玲希(れの)	女	隆洋・沙織	和泊
安田 天心(てんしん)	男	拓・恵奈美	和泊
原田 心晴(こはる)	女	優太・亜季音	畦布
和 優杏(ゆあ)	女	実希人・優衣	喜美留
盛田 溪(けい)	男	陽一・宏美	国頭
末川 柚希(ゆの)	女	雄介・明日翔	和泊

おくやみ

月 / 日	故人	歳	住所
1 / 15	今榮 律子	64	玉城
1 / 20	林 ミヤ子	73	和
1 / 29	村山 千枝子	95	手々知名
1 / 31	南 修	89	玉城
2 / 1	伊地知 いつ子	85	喜美留

おくやみ

月 / 日	故人	歳	住所
2 / 18	中屋 ナツ	98	国頭
2 / 26	重信 盛久	69	和泊
2 / 27	皆吉 アキノ	95	皆川
2 / 27	山田 千恵男	89	根折
3 / 14	保 善隆	91	内城
3 / 22	三島 義徳	88	畦布

香典返し

寄付者	故人	続柄	住所
新留 理恵子	村山 千枝子	母	霧島市
今榮 照二	今榮 律子	妻	玉城
盛 タツ子	皆吉 アキノ	母	和泊
中屋 利陵	中屋 ナツ	母	国頭
基 康成	基 原祥	父	和泊
重信 勝子	重信 盛久	夫	和泊
山下 智恵	山下 仁司	子	根折
西 美津代	保 善隆	父	内城
松下 元文	松下 茂樹	子	和泊

2022年2月1日から2022年3月31日までのお届けのうち、掲載依頼のあった届けのみを掲載しています。(敬称略)

地域おこし協力隊日記

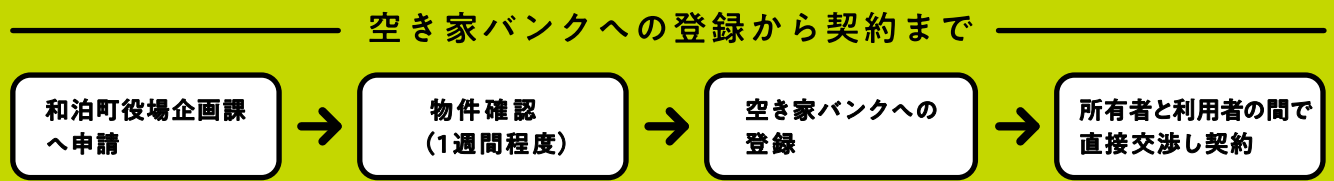
2014年〜17年に和泊町まちづくり協力隊として活動してまいりました、元協力隊の吉成です。任期中は、「あざまち元気活動」を中心にみなさんと字町の未来について話し合いながら、様々な活動のお手伝いやプロジェクトに関わらせていただきました。

任期終了後も定住し、現在は、奄美群島通訳案内士の資格をとって、島の魅力を世界へ発信することも含め少しでも多くの方々に伝えられるよう、日・英ガイドのお仕事をさせていただいたり、自宅の一部でコミュニティスペース「井戸端あぐみちゃ」を運営しております。あくみちゃでは、不定期で島暮らしの生活の知恵を共有したり、趣味や学びの繋がりを持てるような様々なイベントを行っております。

先日は、えらぶ産なべらー(へちま)たわしのワークショップを行いました。日頃なにげなく使っているプラスチックスポンジなどが実は、使い続けていると小さな破片が下水処理を通り抜けて、マイクロプラスチックとして海を汚している一因になっているらしいということを知り、代わりに島で育てることのできるへちまで、簡単に万能たわしが作れることや使い方のアイデアなどをわいわい話しながら実践するイベントでした。これからも、様々な企画を通して、うやほの知恵を若い世代が引き継ぐきっかけ作りや若者男女が集い交流でき、島暮らしがさらに楽しくなるような場作りができればいいなと思っています。

和泊町まちづくり協力隊OG 吉成 泰恵子

空き家バンクに登録しませんか？



お問い合わせ [和泊町役場企画課] TEL:0997-84-3512 MAIL:kikaku@town.wadomari.lg.jp

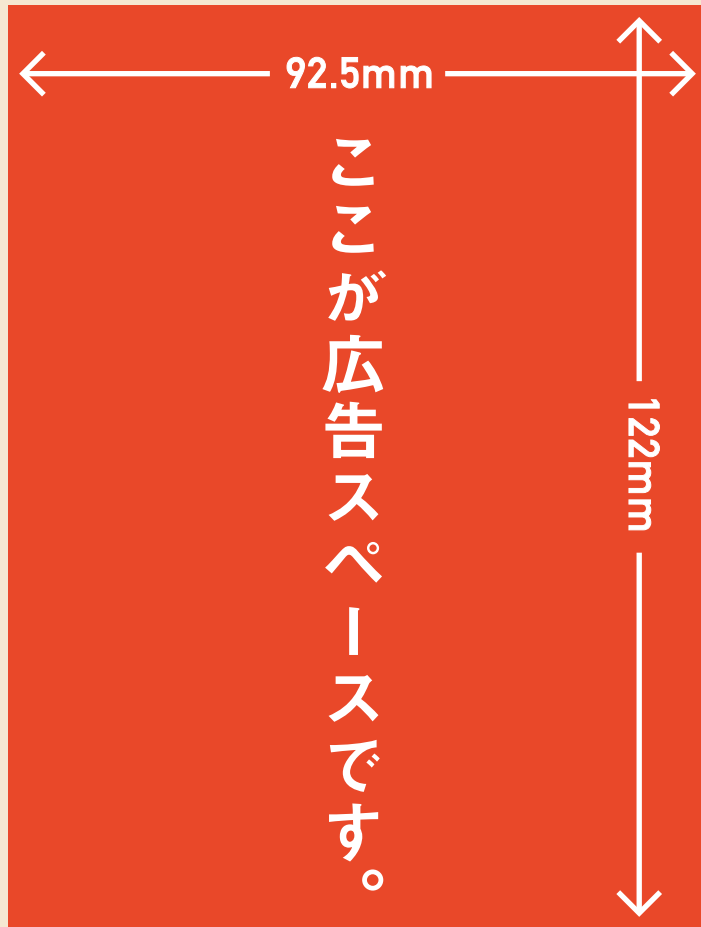
有料広告募集!

和泊町の広報誌「わどまり」に広告を掲載してみませんか？あなたのお店や会社、イベント等のPRに是非お役立て下さい!

- 掲載料(1枚あたり)：町内 15,000円 / 号
町外 20,000円 / 号
 - 掲載枚数：各号最大2枚
 - 申込期限：発行日の1か月前まで
 - 申込資格：「和泊町広告掲載取扱要綱」を遵守できる方
 - 規 格：サイズ / 縦122mm × 横92.5mm
- ※ 原稿は本媒体に適した形式及び解像度のデータを提出して下さい。

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

【申込・お問い合わせ】
 和泊町役場企画課 / TEL: 0997-84-3513



和泊町広報誌「わどまり」は地方自治体の情報をお届けするアプリ「マチイロ」でもご覧になれます。

